

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (江田島市立三高小学校)

- ① 教科等 生活科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 「みんなで作ろう！ビー玉コースター」
- ④ 本時の目標 比べたり試したりして、ビー玉の道作りを工夫することができる。
- ⑤ 学習の流れ (6時間目/全11時間)

言語活動の充実

学習活動と予想される反応	指導上の留意点 (○) と支援 (*)	評価 (◎) (評価方法)
1 本時でやってみたいことを伝え合う。	○本時で何をどのように作ったり、直したりしていききたいかを明確にし、活動の見通しと意欲をもたせる。	
2 学習課題を把握する。	作りたいビー玉のみちになるようにくふうしてつくろう。	
3 ビー玉の道作りをする。	○作りたいみちになるように、比べたり試したりすることが工夫につながることを確認する。 ○様々な材料を準備しておき、児童が自分たちで考えながら作ることができるようにする。	◎比べたり試したりして、ビー玉の道作りを工夫している。 【活動や体験についての思考・表現】
4 気付いたことや工夫したことなどを交流する。 (1) ワークシートに書く。 (2) 交流する。	○ワークシートに気付いたことや工夫したこと、困ったことなどを絵や言葉で分かりやすく表現させる。 *児童が活動中につぶやいたり気付いたりしたことを書くことができるように、個別に声かけをする。 *分かりやすく表現させるために「何をどのように~した」の話型のヒントカードを活用する。 ○児童の気付きや工夫したことなどから、友だちと協力しなければ解決できないことなどを引き出していくようにする。 *表現が難しい児童には、ヒントカードの話型を使うよう助言する。	(観察・ワークシート・発言)
5 本時の授業を振り返る。	○本時で出た、もっと工夫したい点や困ったことを確認し、次回グループで考えていくことを伝える。	

設定した言語活動を通して育てたい力

- ビー玉コースターの道作りを通して、気付いたことや工夫したことなどを分かりやすく表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 分かりやすく表現できるように話型を活用させたり、具体物を示しながら説明させたりする。